

平成29年度当初予算のポイント

(平成28年度3月補正予算を含む)



一人ひとりを大切に
安心、活気に満ちた久留米づくり
“日本一住みやすいまち・久留米”を目指して

“安心・住みたいまち予算”



人



安心



活力

キラリ✧久留米

輝く、人・まち。

1. 予算の特色	1
2. 重点施策ごとの事業の内容	
≪久留米市新総合計画第3次基本計画前期（平成27～29年度）事業計画に定める 重点施策ごとに取りまとめたものです≫	
（1）超高齢社会など時代を見据えた都市の構築	
① 超高齢社会に対応した都市づくり	3
② 未来を担う人づくり	7
（2）幸せを実感できる市民生活の実現	
① 人権の尊重、男女共同参画のまちづくり	15
② 健康で安心して暮らせるまちづくり	17
③ 安全に暮らせるまちづくり	21
④ 文化芸術、スポーツを活かしたまちづくり	26
（3）住み続けたいと思える、住み続けられる地域社会の形成	
① 特長を活かした地域産業の元気づくり	29
② 広域求心力づくり	34
（4）その他の主な事業	38
3. 主な新規事業	39
4. 財政状況	42
5. 予算の姿	46

1. 予算の特色

○平成29年度一般会計当初予算規模は1,359億8千万円

○平成28年度3月補正予算(経済対策事業分)を含めると約1,364億4千万円

平成29年度は、国が掲げる「一億総活躍社会の実現の加速」や「地方創生の推進」といった方針を踏まえつつ、「久留米市新総合計画第3次基本計画」及び「中期市政運営方針」に基づき、市民の皆様との協働を基本に、一人ひとりを大切にしたい、安心、活力に満ちたまちづくりを進めることにより「日本一住みやすいまち・久留米」の実現に向けた予算を編成しました。

平成29年度の当初予算では、これまで取り組んできた施策を着実に前進させるとともに、将来を見据え次の世代に繋げることを念頭に置き、子育て世代への切れ目のない包括的な支援体制の充実や、社会的な支援を必要とされる方々への福祉施策の充実、防災やセーフコミュニティの推進、地域における体感治安や防犯力の向上に取り組めます。また、久留米シティプラザや久留米市美術館を戦略的に活用したまちなか賑わいづくりや農業・商工業の振興に向けた施策の充実など、市民や団体などとの協働により、安全で安心して暮らせるまちづくり、活力あるまちづくりを進める予算としました。

なお、平成29年度当初予算と平成28年度3月補正予算を一体のものとして編成しており、学校施設の環境整備を図るための事業や久留米市版の創生総合戦略に基づく地域拠点づくり事業については、国が経済対策として補正予算で措置した国庫補助金等を活用し、平成28年度の3月補正予算に前倒し計上しました。

その結果、平成29年度一般会計の当初予算の規模は、平成28年度比で1.9%増の1,359億8千万円となり、前倒し計上となる平成28年度の3月補正予算(経済対策事業分)を含めた合計額は、平成28年度(平成27年度3月補正前倒し分含む)比1.4%増の1,364億4千万円となりました。

区 分	平成29年度	平成28年度	増減	伸び率
一般会計当初予算	1,359億8千万円	1,334億4千万円	25億4千万円	1.9%
当初+3月補正 (経済対策事業分) 合 計	1,364億4千万円	1,345億3千万円	19億1千万円	1.4%

一般会計当初予算の主な増減要因（3月補正を除く）

平成29年度当初予算額（対前年度増減額・伸率）

○一般会計の予算規模は、28年度当初予算よりも**上回る**
1,359億8千万円（25億4千万円・1.9%）

○歳入

- **市債**は、普通建設事業の進捗や臨時財政対策債の発行可能額の増加に伴い、**増加**
138億2千万円（16億4千万円・13.5%）
- **県支出金**は、民生費及び農林水産業費県補助金等の増加を見込み、**増加**
111億9千万円（10億円・9.8%）
- **市税**は、個人市民税や固定資産税の増加を見込み、**増加**
397億6千万円（8億6千万円・2.2%）
- **繰入金**は、財政調整基金等からの繰入の増加を見込み、**増加**
72億5千万円（5億7千万円・8.6%）
- **寄附金**は、ふるさと・くるめ応援寄付がご好評いただいております、**増加**
12億5千万円（2億9千万円・30.0%）
- **地方交付税**は、合併算定替の逡減等を見込み、**減少**
199億8千万円（▲4億1千万円・▲2.0%）
- **国庫支出金**は、民生費国庫補助金等の減少を見込み、**減少**
255億7千万円（▲12億4千万円・▲4.6%）

○歳出（性質別）

- **普通建設事業費**は、総合武道館整備や新産業団地整備の進捗等に伴い、**増加**
178億7千万円（19億5千万円・12.2%）
- **物件費**は、宮ノ陣クリーンセンターや美術館の通年稼働等により、**増加**
192億2千万円（4億3千万円・2.3%）
- **公債費**は、過年度に借り入れた臨時財政対策債や合併特例債等の償還費が**増加**
129億1千万円（4億1千万円・3.3%）
- **積立金**は、ふるさと・くるめ応援寄付の増加に伴う、基金への積み立てが**増加**
14億2千万円（3億3千万円・29.8%）
- **貸付金**は、中小企業融資制度等に係る貸付金が**減少**
31億円（▲3億2千万円・▲9.3%）
- **繰出金**は、国民健康保険事業特別会計等への繰出金が**減少**
107億8千万円（▲6億円・▲5.3%）

[H28年度は、国民健康保険事業の財政運営の安定化を図る目的で国民健康保険財政調整積立基金への積み立てを行うため、国民健康保険事業特別会計へ5億円の繰出を実施。]

2. 重点施策ごとの事業の内容

(1) 超高齢社会など時代を見据えた都市の構築

① 超高齢社会に対応した都市づくり

久留米シティプラザをはじめとした高度な都市機能と都市型住宅を効率的に集積する一方で、日常の生活圏の中心となる個性ある地域の生活拠点の振興を図ります。

また、拠点間の連携を強化するため公共交通や幹線道路の整備を図り、ネットワーク型のコンパクトな都市づくりを進めることで、市域内の均衡ある発展と水と緑と共生する都市空間の整備を進めます。

老老介護や高齢者の社会的孤立など、深刻化する社会的問題を、行政の公助や高齢者自らの自助努力だけで乗り切ることには限界があるため、地域で互いに支え合う、共助の仕組みづくりに取り組みます。

また、高齢者の生きがいや活躍の場、交流の場づくりなど、高齢者の社会参加の促進を図りつつ、買物や通院など日常生活に困らないよう、交通対策をはじめ生活支援策の導入を図ります。

◆ ネットワーク型のコンパクトな都市づくり

◇ 中心市街地再整備事業（8款4項1目：以下8. 4. 1と表記）

（予算：465,951千円）

中心市街地の活性化と都市環境や防災・防犯上の課題の改善のため、細分化された土地の高度利用を図るとともに、新たな都市空間の創出及びまちなか居住促進のための環境整備に取り組む。

○優良建築物等整備事業補助金（銀座地区）	358,660千円
○第一種市街地再開発事業補助金（JR久留米駅前第二街区）	80,300千円
○中心市街地地区再開発手法の調査・検討	2,000千円
○第3期中心市街地活性化基本計画（案）の策定【新規】	2,000千円

◇ 公共交通利用促進事業（8. 4. 1）（予算：92,734千円）

既存公共交通を維持するとともに、市域内外での円滑な移動が可能となるような、利便性の高い公共交通体系の整備を図る。

○バス停上屋整備費補助金	2,500千円
○路線バス運行事業費補助金（9路線）	84,298千円
○拠点駅整備方針の検討	1,200千円
○ノンステップバス導入費補助金	1,400千円

◇幹線道路整備促進事業（8. 4. 1）（予算：9, 063千円）

市域内の各拠点のネットワーク化、慢性的な交通渋滞の解消、周辺自治体との広域連携の強化等を図るため、幹線道路の効率的・効果的な整備のあり方について検証する。

○東町太郎原町線外事業計画の検討【新規】	4, 000千円
○幹線道路整備促進基礎資料の作成	5, 000千円

◇コミュニティサイクル利用促進事業（8. 4. 1）（予算：15, 559千円）

マイカーから環境に優しい自転車への転換を促進することや、市民や来街者の新たな移動手段として活用するために、コミュニティサイクルの利用促進を図る。

○サイクルポート設置委託	11, 800千円
○登録キャンペーン・イベント実施	1, 000千円

◇自転車利用促進事業（8. 4. 1など）（予算：31, 141千円）

安全で快適に回遊でき、まちなかを楽しむことができる「自転車が似合うまち」を目指し、市民や来街者が気軽に自転車を利用できる自転車利用環境を構築する。

○西鉄久留米駅周辺駐輪場案内サイン等の設置	3, 040千円
○駐輪場改修計画の策定	2, 100千円
○自転車走行空間整備	22, 300千円

◇都市基幹公園等整備事業（8. 4. 4）（予算：300, 550千円）

○リバーサイドパーク宮ノ陣【新規】	56, 700千円
筑後川河川敷（宮ノ陣地区）に、スポーツ、レクリエーションや憩いの場、また災害時には防災の拠点となる公園施設を整備する。	
○河川敷駐車場【新規】	161, 450千円
久留米総合スポーツセンター周辺エリアの施設の利用促進を図るため、筑後川河川敷（百年公園北地区）に駐車場を整備する。	
○津福公園等	82, 400千円

◇住生活推進事業（8. 5. 1）（予算：17, 431千円）

住宅の質の向上や住宅市場の環境整備及び地域の特性に応じたまちづくりを実現するため、多様な世帯に応じた住宅改修や空き家等の有効活用を促進する。

○住宅リフォーム助成	10, 000千円
○空き家活用リフォーム助成	3, 150千円
○住宅リノベーションコンペ事業	1, 500千円
○空き家活用相談会の開催	687千円
○地域提案型空き家活用事業【新規】	900千円

◇定住誘導推進事業（2. 1. 18）（予算：56, 073千円）

久留米市への人の流れをつくるため、移住・定住総合相談体制の充実を図るとともに、移住希望者の検討段階に応じた情報提供や支援を行う。

○移住・定住総合相談窓口の運営	3, 196千円
○移住促進パンフレット作成	3, 000千円
○移住促進イベント等の開催	3, 177千円
・移住促進イベント	2, 042千円
・久留米見学オーダーメイドツアー【新規】	385千円
・久留米体験居住事業	750千円
○地域おこし協力隊を活用した地域情報の発信支援	3, 890千円
○定住奨励補助金	40, 430千円
・転入ファミリー一定住奨励補助	31, 820千円
・通勤定期利用補助	8, 610千円

◆支えあう、共助の仕組みづくり

◇キラリ輝く市民活動活性化事業（2. 1. 18）（予算：50, 335千円）

○キラリ輝く市民活動活性化補助金	50, 000千円
------------------	-----------

市民活動の活性化を図り、協働によるまちづくりを推進するため、地域コミュニティ組織及び市民公益活動団体等が行う事業活動に対して助成する。

◇校区コミュニティセンター等建築費補助（2. 1. 18）

（予算：92, 748千円）

地域コミュニティの振興と地域の多様な活動を推進するため、コミュニティセンター等の建築や改修に係る経費の一部を助成する。

○校区コミュニティセンター等建築費補助	91, 817千円
---------------------	-----------

《平成29年度の主な拡充項目》
校区コミュニティセンターの改修等に対する補助については、補助率4/5を**5/5**へ拡大

◇地域介護予防活動支援事業（介護保険事業特別会計）

（予算：36, 039千円）

地域での介護予防の取り組みを支援するため、介護予防の意識を高める講座の開催や介護予防教室の講師派遣などを行う。

○にこにこステップ運動&スロージョギング(講師派遣型)	9, 157千円
○おたっしや出張講座	12, 170千円
○ドレミ♪で介護予防(講師派遣型)	4, 147千円
○(仮称)介護予防サポーター養成講座【新規】	6, 612千円

◆高齢者の社会参画と買い物弱者対策など生活支援の充実

◇生活支援交通整備事業（8. 4. 1）（予算：40,673千円）

公共交通の利用が不便な地域の移動手段を確保することを目的とした生活支援交通策として、よりみちバス等を運行する。

○生活支援交通（よりみちバス）運行委託	35,166千円
・北野地域	17,480千円
・城島地域	17,686千円
○地域交通対策事業費補助金（コミュニティタクシー）	3,000千円

◇買い物弱者対策事業（7. 1. 2）（予算：569千円）

○買い物支援連携事業費補助金	569千円
地域住民の買い物利便性の向上を図るため、商工団体が取り組む買い物弱者対策への支援を行う。	

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○ネットワーク型のコンパクトな都市づくり		
筑後川堤防道路事業	8 2 3	239,000
中心拠点・地域生活拠点整備事業	8 4 1	4,502
都市計画関連調査事業	8 4 1	32,952
環状道路整備事業	8 4 3	716,920
○支えあう、共助の仕組みづくり		
市民活動・ネットワーク形成支援事業	2 1 18	45,243
支え合いの仕組みづくり事業	3 1 1	2,794
成年後見推進事業	3 1 1	21,773
認知症サポーター等養成事業	介護保険事業特別会計	1,336
○高齢者の社会参画と買い物弱者対策など生活支援の充実		
（公社）久留米市シルバー人材センター助成	5 1 1	42,699
高齢者の現役活躍促進事業	5 1 1	404

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

②未来を担う人づくり

結婚から妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を一連のライフステージに応じて総合的に進めるとともに、待機児童対策や子育て世帯に寄り添う支援に取り組むなど、安心して子どもを産み、健やかに育てることができるまちづくりを進めます。

教育の面では、「教育に関する大綱」に基づき、教育委員会との緊密な連携を図りながら、より一層の学力向上、不登校対策の充実、学校・家庭・地域の連携強化に取り組むとともに、教育環境のさらなる整備・充実を図ります。

また、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、必要な環境整備やきめ細やかな学習支援に取り組むなど、横断的・効果的な子どもの貧困対策に取り組めます。

◆少子化対策の推進

◇待機児童解消事業（3. 2. 1）（予算：1, 231, 953千円）

待機児童の解消を目指し、受入定員の増加と保育施設の環境改善を図るため、保育所や認定こども園の増改築等に対し、その経費の一部を助成するとともに、不足する保育士の確保を図るため、保育士への就職支援や保育所等の人材確保に対する助成を行う。

- | | |
|--|------------|
| ○私立保育所施設整備事業 | 348, 219千円 |
| ・増改築等（2園：定員増45名） | 245, 114千円 |
| ・環境改善（1園） | 103, 105千円 |
| ○認定こども園施設整備事業 | 819, 824千円 |
| ・環境改善（3園） | 819, 824千円 |
| ○保育士人材確保対策事業【新規】 | 61, 910千円 |
| 年度当初や中途において十分な児童の受入体制を確保するのに必要な保育士の雇用を促すため、保育所等が職員配置基準を超えて保育士を雇用する経費を助成する。 | |
| ・保育士の雇用一人当たり月額約20万円を助成 | |
| ・最大6ヶ月、1園当たり2名まで | |
| ○潜在保育士就職支援給付金給付事業【新規】 | 2, 000千円 |
| 保育士資格を有するが保育士として一定期間勤務していない者（潜在保育士）が、市内の保育所等に継続して就業しようとする場合、給付金を支給する。 | |
| ・保育士一人当たり10万円を支給 | |

◇子ども発達支援センター機能整備事業（3. 2. 1）

（予算：30, 325千円）

発達の遅れや偏りがある乳幼児の心身の発達を促すため、臨床心理士、言語聴覚士、保育士及び市が直接雇用する医師等による、相談・訓練・療育を行う。

平成29年度は来所型及び出前型発達支援を組み合わせた発達支援システム機能のさらなる充実を図る。

○来所型発達支援事業	25, 142千円
○出前型発達支援事業	5, 183千円

◇病児保育事業（3. 2. 1）（予算：63, 146千円）

保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、子どもが病気や回復期に、家庭で子どもを看ることができず、保育所等での預かりが困難な家庭に対し、専用の保育施設での一時預かりを行う。

○病児保育事業費補助金	63, 146千円
《平成29年度の主な拡充項目》	
・事業実施箇所の拡大（4ヶ所→5ヶ所）	

◇結婚・妊娠・出産・子育て希望支援事業（3. 2. 1）

（予算：27, 626千円）

若い世代が結婚したいという希望を実現するため、地域や事業者と協働して出会いの創出などに取り組むとともに、子育て中の保護者同士が支え合い、不安感や悩みの軽減を図り、子育ての喜びを享受できる環境づくりを支援する。

○ボランティア活動を通じたマッチング事業【新規】	600千円
○企業間婚活推進事業費補助金【新規】	1, 000千円
○地域子育て促進事業費補助金【新規】	1, 000千円
○企業・団体婚活支援ネットワークの運営	9, 807千円
○結婚新生活支援補助金	14, 400千円

◇学童保育所運営事業（3. 2. 4）（予算：464, 105千円）

子どもたちが安全な場所で安心して放課後を過ごすため、昼間保護者のいない家庭の低学年児童などの預かりを実施する。

また、保護者のニーズに的確に対応するため、高学年児童の預かりを順次拡大する。

○学童保育所運営委託料	464, 091千円
《平成29年度の主な拡充項目》	
・高学年児童の受入拡大（23校区→36校区）	

◇学童保育所整備事業（3. 2. 4）（予算：253,464千円）

学童保育事業の安全の確保と児童の保育環境の充実のため、利用児童の増加で狭あい化している学童保育施設の増改築等を行う。

○上津校区（増築） （80名増：119名→199名）	87,974千円
○荒木校区（増築） （80名増：127名→207名）	78,716千円
○篠山校区（増築）[工期：平成28～29年度] （80名増：82名→162名）	21,209千円
○京町校区（改築）[工期：平成29～30年度] （57名増：63名→120名）	9,196千円
○草野校区（改築） （8名増：32名→40名）	41,995千円
○設計委託 （東国分、山川校区）	10,609千円

定員数

平成28年度末：3,510人
平成29年度末：3,758人

◇子育て世代包括支援事業【新規】（4. 1. 1）（予算：36,384千円）

妊娠期から子育て期にわたるまでの、母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地からワンストップで包括的な相談支援等を実施する体制を構築するとともに、産婦健康診査や産後ケア事業等を開始し、妊産婦の支援の充実を図る。

○（仮称）くるめ親子支援センター設置	13,075千円
○産婦健康診査事業	15,829千円
○産後ケア事業	7,220千円
○多胎妊産婦の産前・産後サポート事業	260千円

◇特定不妊治療費助成（4. 1. 1）（予算：90,004千円）

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を希望する夫婦への支援を図るため、全国共通の助成制度に加え、市独自に助成額を上乗せし、その費用の一部を助成する。

○特定不妊治療費助成	87,150千円
・市単独上乗せ分	11,400千円
○男性不妊治療費助成	2,800千円
・市単独上乗せ分	700千円

◇子ども医療費助成（3. 2. 5）（予算：1, 180, 520千円）

子どもの保健を向上し、福祉の増進を図るとともに、子育て世代の経済的負担を軽減するため、子どもに係る医療費の助成を行う。

○通院に係る医療費助成：中学3年生まで

助成の方法：現物給付

自己負担：3歳未満《無し》

6歳就学前《600円/月》

小学6年生まで《1,000円/月》

中学3年生まで《3,500円/月》

○入院に係る医療費助成：中学3年生まで

助成の方法：現物給付

自己負担：3歳未満《無し》

中学3年生まで《500円/日

（3,500円/月）》

<子ども医療費助成制度の拡充の経緯>

■平成25年10月

通院に係る医療費助成の対象を「就学前まで」から「小学3年生まで」に拡充。

■平成26年10月

入院に係る医療費助成の対象を「小学6年生まで」から「中学3年生まで」に拡充。

■平成28年10月

通院に係る医療費助成の対象を「小学3年生まで」から「中学3年生まで」に拡充し、
就学後の入院に係る医療費助成の方法を「償還払い」から「現物給付」に改正。

◆生きる力を育む教育の充実

◇校舎等長寿命化事業（予算：284, 439千円）

学校施設の長寿命化を図るために、校舎等の改修等を実施する。

【小学校】（10. 2. 1）（予算：119, 090千円）

外壁4校、防水7校、便所5校、屋内運動場床改修2校など

【中学校】（10. 3. 1）（予算：112, 190千円）

外壁2校、防水3校、便所4校、屋内運動場床改修1校など

【高等学校】（10. 5. 1）（予算：53, 159千円）

外壁1校など

◇中学校空調機整備事業（10. 3. 1）（3月補正予算：247, 600千円）

★中学校特別教室への空調機の設置【新規】 247, 600千円
中学校における学習環境を改善するため、既に設置済みの学校を除く、全ての学校の理科室及び音楽室に、空調機を整備する。

★は平成28年度3月補正予算に計上している事業です。
以下、同様に表記しています。

◇学校校舎増改築事業（予算：842, 070千円）
（3月補正予算：105, 039千円）

安全で快適な教育環境を確保し、教育内容や方法の変化に的確に対応するため、老朽化している学校施設の増改築を行う。

【小学校】（10. 2. 3）（予算：624, 321千円）

- 篠山小学校改築事業 [工期：平成28~30年度] 360, 762千円
- ★篠山小学校改築事業 [工期：平成28~30年度] 98, 970千円
- 京町小学校改築事業 [工期：平成28~30年度] 82, 250千円
- ★京町小学校改築事業 [工期：平成28~30年度] 6, 069千円
- 日吉小学校改築事業 22, 105千円
- 小学校校舎増築事業（南小、山川小）【新規】 54, 165千円

【中学校】（10. 3. 3）（予算：322, 788千円）

- 屏水中学校改築事業 [工期：平成26~29年度] 322, 788千円

◇不登校対応総合推進事業（予算：47, 577千円）

【小学校】（10. 2. 2）（予算：14, 026千円）

各学校が生徒指導サポーターと連携を図りながら、不登校や不登校傾向にある児童に対する早期からの支援を行う。

- ・生徒指導サポーターの配置（小学校19校）

【中学校】（10. 3. 2）（予算：33, 551千円）

不登校や不登校傾向にある生徒に校内での居場所をつくり、自分の教室に復帰できるような支援を行う。

- ・校内適応指導教室の設置（全中学校17校）

◇学校英語教育充実事業（予算：16, 065千円）

【小学校】（10. 2. 2）（予算：5, 155千円）

小学校教員の英語力の育成と外国語活動における実践的指導力向上を目指すため、集中研修を実施する。

- ・小学校教員英語研修

【中学校】（10. 3. 2）（予算：10, 910千円）

生徒に対する英語学習への動機付けや英語運用能力の向上を図るため、宿泊型研修の実施や英語検定の受験を行う。

- 中学生イングリッシュキャンプ 1, 923千円
- 英語検定受験 8, 987千円

- ・対象：中学校3年生（全員）

◇くるめ学力アップ推進事業（予算：94,433千円）

【小学校】（10.2.2）（予算：60,601千円）

- 少人数授業の実施 45,139千円
一人ひとりの児童へのきめ細かな対応を図るため、学校の状況に応じて非常勤講師を配置し、少人数授業を実施する。
 - ・第3・4学年での実施 19名配置
- 学力向上支援員の配置 11,880千円
確かな学力の育成に向けて、授業改善・補充学習・学習規律の確立に係る支援を行う支援員を配置する。
 - ・第5学年での実施 5校に配置
- 学習習慣定着支援事業 3,582千円
児童の自学自習の習慣を定着させるため、地域住民や大学生等のボランティアを派遣して放課後等に学習支援を行う。
 - ・全校（46校）で実施

【中学校】（10.3.2）（予算：33,832千円）

- 学力向上コーディネーターの配置 27,712千円
教務担当主幹教諭を、学力向上の核となって企画・立案や調整等を行うコーディネーターに指名し、当該職務に専念するために必要となる非常勤講師を配置する。
 - ・全校（17校）で実施
- 学習習慣定着支援事業 890千円
生徒の自学自習の習慣を定着させるため、地域住民や大学生等のボランティアを派遣して放課後等に学習支援を行う。
 - ・11校で実施
- 学習支援（くるめっ子塾） 5,230千円
学力の定着と子どもの居場所づくりのため、中学生を対象とした無料の学習支援塾「くるめっ子塾」を設置する。

◇コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業（予算：31,363千円）

地域学校協議会を中心として学校・家庭・地域の連携をさらに強化し、「開かれた学校づくり」に向け、特色ある学校づくりや、様々な教育課題の解決など、地域や学校の特性を生かした協働の取り組みを進める。

【小学校】（10.2.2）（予算：19,690千円）

- コミュニティ・スクール推進事業交付金 15,320千円
- 地域学校協議会委員報酬 4,140千円
- ボランティア保険料 230千円

【中学校】（10.3.2）（予算：11,673千円）

- コミュニティ・スクール推進事業交付金 10,058千円
 - ・学習習慣定着支援分【新規】 4,302千円
地域学校協議会の提言を受けて運営する学習習慣定着支援事業に対する交付金（6校分）
- 地域学校協議会委員報酬 1,530千円
- ボランティア保険料 85千円

◆子どもの貧困対策

◇子どもの貧困対策推進事業（3. 2. 1）（予算：6, 575千円）

- 子どもの生活実態調査【新規】 3, 000千円
子どもの貧困対策を効果的に推進するため、子どもや保護者の実態把握を目的とした調査を行う。
- 子ども食堂事業費補助金 3, 500千円
様々な事情を抱えた子どもの生活向上を図るため、食事の提供を行うとともに、地域との交流や生活習慣の習得の支援などを行う。

◇子どもの学習支援事業（3. 1. 1）（予算：14, 011千円）

貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や保護者に対する養育・進学の見学相談を行う。

- 居場所型子どもの学習支援事業 5, 811千円
- 訪問型子どもの学習支援事業 8, 200千円

◇子どもの居場所づくり事業（3. 2. 3）（予算：12, 479千円）

- 子どもの居場所運營業務委託料 12, 479千円
ひとり親家庭等の子どもの生活向上を図るため、学校終了後に生活習慣の習得、学習の支援、食事の提供等を行う。

◇高等職業訓練促進給付金等事業（3. 2. 3）（予算：45, 281千円）

ひとり親家庭の経済的な自立を図るため、就職に有利であり、且つ生活の安定に資する資格の取得を目指すひとり親家庭の父または母に対して支援を行う。

- 訓練促進給付金 44, 106千円
- 修了支援給付金 1, 175千円

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○少子化対策の推進		
障害児・者発達支援事業	3 1 1	3,442
すくすく子育て21事業	3 2 1	4,000
保育士・保育所支援センター事業	3 2 1	442
私立保育所運営費助成事業	3 2 1	201,871
認定こども園運営費助成事業	3 2 1	38,220
保育所給食充実事業	3 2 1	57,330
公立保育所整備事業	3 2 4	84,103
公立保育所給食調理委託事業	3 2 4	37,242
母子保健事業	4 1 1	393,058
小児救急医療事業	4 1 1	11,054
○生きる力を育む教育の充実		
非行を生まない社会づくり事業	3 2 7	8,882
学校小規模化対応事業	10 1 2	5,781
スクールソーシャルワーカー活用事業	10 1 2	14,808
学校ICT環境再構築事業	10 1 3	75,287
学校給食の充実	10 2 1 など	665,530
特別支援教育支援員活用事業	10 2 2 など	103,347
中学校生徒指導充実事業（専任生徒指導教員の配置）	10 3 2	16,269
○子どもの貧困対策		
生活困窮者自立支援事業《再掲》	3 1 1	55,684
児童扶養手当の支給	3 2 3	1,820,523
ひとり親家庭高卒認定試験合格支援事業	3 2 3	350
ひとり親家庭等就業・自立支援事業	3 2 3	3,465
スクールソーシャルワーカー活用事業《再掲》	10 1 2	14,808
くろめ学力アップ推進事業《再掲》	10 2 2 など	94,433

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

(2) 幸せを実感できる市民生活の実現

①人権の尊重、男女共同参画のまちづくり

一人ひとりの市民が人権意識を高め、互いの個性を尊重し合い、相手を理解して共に生きる社会の形成を進めるとともに、差別事件や虐待事件等から市民の人権を擁護する対策に積極的に取り組みます。

また、男女共同参画社会の実現に向けて、女性の市政への参画をはじめ、地域活動における男女共同参画の促進、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の活躍促進、DV対策、性暴力被害者支援の充実などに取り組みます。

◆人権の尊重と人権擁護の地域づくり

◇地域人権啓発の推進（3. 1. 1）（予算：10, 810千円）

人権意識の高揚、確立を図るため、小学校区の人権啓発推進協議会の活動を通して、校区における人権啓発を推進する。

◇全市的な人権啓発事業の推進（10. 6. 1）（予算：10, 512千円）

人権意識の高揚、確立を図るため、同和問題啓発強調月間や人権尊重週間で講演会等の啓発事業を行う。

◆男女共同参画の推進

◇女性活躍促進事業（2. 1. 15）（予算：2, 034千円）

女性が経済的・社会的に自立し、希望する分野で活躍できる男女共同参画社会づくりを促進するために、就業（継続）支援や人材育成を進めるとともに、男女平等意識の醸成を図る。

○市民サポーターによる男女共同参画事業	565千円
○政策参画講座	200千円
○次世代男女共同参画促進事業	618千円
・女子中高生の理工系チャレンジ応援事業【新規】	496千円
○働く女性のための就業（継続）支援事業	96千円
○女性の起業支援セミナー	555千円

◇ワーク・ライフ・バランス推進事業（5. 1. 1）

（予算：4, 200千円）

○ワーク・ライフ・バランス推進助成金	4, 200千円
従業員の仕事と家庭の両立を支援するため、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業に対し、多様な勤務形態の導入や研修などに係る経費の一部を助成する。	

◇女性労働者の活躍促進事業（5. 1. 1）（予算：2, 366千円）

女性が活躍できる職場環境づくりを促進するため、企業の経営者等に対し、女性活躍に関する啓発を行う。また女性の就業率の向上を図るため、子育て中の人に対し、就職に関する情報提供と就労相談を行う。

○子育て中の人のためのしごと相談カフェ	1, 261千円
○企業向け女性活躍推進セミナー	368千円
○女性管理職養成講座	737千円

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○人権の尊重と人権擁護の地域づくり		
人権・同和対策事業《一部再掲》	3 1 1	50,490
成年後見推進事業《再掲》	3 1 1	21,773
児童虐待対策事業	3 2 1	4,137
学校人権・同和教育事業	10 1 2	27,186
学校人権・同和教育実践研究事業	10 2 2 など	3,000
中学校人権教育・啓発推進事業	10 3 2	7,110
○男女共同参画の推進		
男女平等推進センター事業	2 1 15	8,676
DV・性暴力対策推進事業	2 1 15	2,112
DV被害者支援事業	3 1 1	808
DV対策支援事業	3 1 1	1,600

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

②健康で安心して暮らせるまちづくり

地域や関係団体等と連携して、市民一人ひとりの心身の状況に応じた健康づくりを支援し、保健、医療、福祉の充実により、健康寿命の延伸に取り組めます。

また、介護や生活支援、各種相談など生活に密着した保健、福祉を充実し、高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

◆健康寿命の延伸

◇健康のびのびプロジェクト事業（４．１．１）（予算：１２，６５７千円）

「第２期健康くるめ２１」計画の基本目標に掲げる「健康寿命の延伸」を図るため、生活習慣病の発症予防と重症化予防などを基本視点として、身体活動・運動の推進や健診の受診率向上など、一次予防に重点を置いた取り組みを強化し、市民の健康づくりを効果的に支援する。

○がん検診等コールセンター事業	５，５６６千円
○健康くるめ２１フェスタ事業	１，０５８千円
○健康に関する実態調査委託【新規】	２，５８１千円
○ラジオ体操推進事業	２，４４７千円
・夏期巡回ラジオ体操の開催【新規】	１，４３４千円
・ラジオ体操指導員養成講習会	２４０千円
・ラジオ体操講師派遣事業【新規】	１３０千円

◇地域医療連携事業（４．１．１）（予算：３３，９１１千円）

○ドクターカー運行事業費負担金	３２，３６０千円
-----------------	----------

重症患者の救命率向上及び後遺症軽減のため、久留米大学病院、久留米広域消防本部の協力のもと、医師、看護師が救急車に同乗して現場に向かう久留米市ドクターカーを運行する。

◇健康増進事業（４．１．２）（予算：５３７，１２０千円）

疾病を早期に発見し、市民の健康の保持・増進を図るとともに、将来の医療費の伸びを抑えるため、健診等を総合的に実施する。

○受診率向上対策事業【新規】	１，９３３千円
がん検診未受診者を対象として、ハガキによる個別勧奨を行う。	
○胃がんリスク検査	９，４５２千円
《平成２９年度の主な拡充項目》	
・検査対象者の拡大（４１歳のみ→４１・４６・５１歳）	

◇身近な広場整備事業【新規】（8. 4. 4）（予算：32,000千円）

身近な憩いや健康づくりの場、子どもたちの遊び場として、近隣居住者の利用を主な目的とした小規模な公園を整備する。

○公園施設の整備	20,000千円
○測量設計等	12,000千円

◆保健、福祉の充実

◇重症心身障害児・者地域生活支援事業（3. 1. 1）（予算：9,037千円）

医療的ケアが必要な在宅の重症心身障害児・者等が、地域で安心して暮らすことができるような支援体制を整備し、家族の介護負担軽減を図る。

○医療的ケア短期入所給付事業	3,553千円
・介護老人保健施設における受け入れ【新規】	1,204千円
○医療的ケア訪問看護事業【新規】	4,440千円
施設への移動に過度の負担がかかる在宅の重症心身障害児・者等の自宅へ看護師を派遣し、医療的ケアを伴う見守りを実施する。	

◇生活困窮者自立支援事業（3. 1. 1）（予算：55,684千円）

多様で複合的な課題を抱える生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるように、個人の状態に応じ継続的・包括的に支援を行う。

○生活困窮者自立相談支援事業	28,259千円
○住居確保給付金	4,642千円
○家計相談支援事業	12,695千円
○就労準備支援事業	1,078千円
○一時生活支援事業	8,748千円

◇自殺予防対策事業（4. 1. 1）（予算：5,016千円）

保健所などの公的機関に相談することができず、生きづらさを抱えた市民を対象に、専門のカウンセラーに気軽に相談できる場を提供する。

○こころの相談カフェ運営委託	2,122千円
・日曜・平日夜間の相談窓口の開設【新規】	292千円
既存の窓口に加え、中高年男性をターゲットとした相談窓口を日曜日や平日夜間に月1回程度開設する。	
○自殺対策計画の策定【新規】	910千円
○ゲートキーパーの養成	458千円

◇介護予防普及啓発事業（介護保険事業特別会計）（予算：40,888千円）

介護予防に取り組むきっかけとなるよう、「運動」「音楽」「学習」療法を用いた様々な予防教室を開催する。

○にこにこステップ運動&スロージョギング（教室型）	25,560千円
○くるめ元気脳教室	4,479千円
○ドレミ♪で介護予防（教室型）	1,580千円

◇地域包括ケアシステム推進事業（介護保険事業特別会計）

（予算：474,760千円）

住み慣れた地域で、自立した生活が送れるように「医療」、「介護」、「介護予防」、「住まい」、「日常生活の支援」が包括的に確保される仕組みを構築する。

○在宅医療・介護連携の推進	6,840千円
・在宅医療・介護連携課題分析【新規】	1,696千円
・退院調整ルールの策定【新規】	1,715千円
○認知症施策の推進	64,024千円
・初期集中支援チームの運営	10,266千円
・認知症地域支援推進員の配置	52,162千円
○地域ケア会議の推進	33,905千円
○生活支援サービスの体制整備	37,651千円
・生活援助従業者研修等【新規】	2,508千円
・生活支援コーディネーターの配置	34,446千円
○介護予防・日常生活支援総合事業	332,340千円
・第1号訪問・通所事業	298,070千円
・介護予防ケアマネジメント事業	26,451千円
・地域リハビリテーション活動支援事業【新規】	7,819千円

◇認知症高齢者見守り事業（介護保険事業特別会計）

（予算：2,854千円）

○行方不明高齢者位置情報検索サービス利用補助金【新規】	1,404千円
認知症により行方不明になる可能性の高い高齢者等の事故防止と早期発見・保護及び家族の負担軽減を図るために、位置情報検索サービス（GPS等）の利用開始に係る費用を助成する。	

◇緊急通報システム貸与事業（介護保険事業特別会計）

（予算：8,919千円）

○緊急通報システムの貸与	8,919千円
一人暮らしの高齢者が自宅で急病等に陥った際、警備会社等に通報する緊急通報機器を貸与する。また、専門職による日常生活の相談や、オプションとしてのセンサーによる通報機能を付加する。	

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○健康寿命の延伸		
健康ウォーキング事業	4 1 1	2,800
山苞の道歩道等整備事業	8 2 3	22,000
コミュニティサイクル利用促進事業《再掲》	8 4 1	15,559
自転車利用促進事業《再掲》	8 4 1 など	31,141
まちなかの歩きたくなる道づくり事業	8 4 1	15,000
住区基幹公園等整備事業	8 4 4	190,012
総合型地域スポーツクラブ支援事業	10 7 1	376
市民スポーツ推進事業《再掲》	10 7 1	6,053
○保健、福祉の充実		
障害者基幹相談支援センター運営事業	3 1 1	65,904
ひとり親家庭等就業・自立支援事業《再掲》	3 2 3	3,465
こころのケア対策推進事業	4 1 1	1,682
予防接種費	4 1 2	982,181
特定感染症予防対策事業	4 1 2	8,737
地域介護予防活動支援事業《再掲》	介護保険事業特別会計	36,039

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

◇高齢運転者の免許自主返納支援事業【新規】(2. 1. 13)

(予算：15,975千円)

- 運転免許自主返納の特典 15,000千円
交通事故の防止、交通安全の向上の観点から、運転に不安を覚える高齢運転者が自主的に運転免許を返納するきっかけとなるよう支援を行う。
対象者：70歳以上の運転免許を自主返納された方
特典内容：交通系ICカードやバス回数券、タクシー利用券のいずれか(年間1万円分)
支援期間：申請により免許返納から3年間

◇校区青パト活動支援事業【新規】(2. 1. 18)(予算：11,480千円)

市内全校区への青パト配備を促進し、地域における防犯活動を支援するため、青パト車両のリース経費や活動経費を助成する。

- 青パト車両リース補助 3,780千円
補助対象：校区コミュニティ組織等
対象経費：専用青パトの新規配備及び更新に係るリース料
○青パト活動費・維持管理補助 7,700千円

◇地域の体感治安向上事業(2. 1. 18)(予算：15,875千円)

安全に安心して暮らせるまちづくりの実現のため、犯罪抑止効果の高い街頭防犯カメラを設置するとともに、校区等が行う防犯カメラの設置に対する補助を行う。

- 街頭防犯カメラの設置及び維持管理 9,007千円
・新設予定3地区 7,500千円
○防犯カメラ設置費補助金 5,250千円

◇防犯灯設置推進事業(4. 3. 1)(予算：71,001千円)

- 防犯灯設置費補助金 64,054千円
犯罪を未然に防止し、生活環境の向上を図るため、自治会等の地域住民組織が行う防犯灯の設置・維持管理費用に対する補助を行う。

◇キラリ照明灯整備事業【新規】(8. 2. 4)(予算：16,921千円)

- キラリ照明灯の整備 16,921千円
夜間における歩行者及び自転車の交通安全の向上と犯罪の抑止を図ることを目的に、道路照明灯と防犯灯を補完する「キラリ照明灯」の整備を行う。

◆災害に強い都市づくり

◇防災対策強化事業（8. 1. 1）（予算：149, 551千円）

東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨等の大規模災害を踏まえ、市民の安全・安心な生活を守るため、防災に対する意識や技術の向上を目指すとともに、避難体制や避難所の充実など地域防災力の強化を図る。

○地域防災力の向上	8, 466千円
・防災シンポジウムの開催【新規】	931千円
・防災士養成及びリーダー研修	2, 023千円
・自主防災組織育成事業費補助金	4, 000千円
・緊急告知FMラジオ難聴対策業務	1, 512千円
○避難所機能の充実	105, 907千円
・竹野小学校屋内運動場空調機整備【新規】	68, 820千円
・防災行政無線整備	11, 724千円
・避難所表示板設置	13, 068千円
○防災組織体制等の充実強化	5, 081千円
・避難所利用計画策定【新規】	4, 601千円
○非常用備蓄品の購入	18, 800千円

◇耐震改修促進事業（8. 1. 2）（予算：40, 710千円）

地震による建築物崩壊などの被害から、市民の生命、身体及び財産を守るため、既存建築物の耐震診断や耐震改修工事の費用の一部を助成する。

○大規模建築物耐震化促進事業費補助金	32, 154千円
○木造住宅耐震改修事業費補助金	5, 000千円
○共同住宅耐震診断補助金	1, 970千円
○耐震改修促進広報活動費	1, 050千円

◇消防団応援の店事業【新規】（9. 2. 1）（予算：543千円）

○消防団応援の店表示証等の作成	543千円
-----------------	-------

消防団員やその家族等を対象に、店舗等が各種割引等のサービスを提供することで、地域防災力の中核を担う消防団員を支援し、消防団への加入促進及び地域活性化を図る。

◆環境問題への対策強化

◇ごみ減量・分別リサイクル推進事業（４．２．２）

（予算：1,176,176千円）

ごみ減量と資源の有効活用をより一層促進し、循環型社会を構築する。

○ごみの収集運搬	1,071,002千円
・可燃物・粗大・特別ごみ収集業務	623,001千円
・資源物収集業務	372,755千円
・収集容器配布回収業務	75,246千円
○分別推進員事業	85,181千円
・古紙・布類回収事業費補助金	23,205千円
・廃棄物減量推進員報酬	37,440千円
・分別推進事業費補助金	24,536千円

◇環境まなびのまちづくり事業（４．３．１）（予算：13,196千円）

市民・事業者・行政などすべての主体が環境問題についての情報を共有し、自らの責任と役割を理解した上で主体的に、また、協働して環境配慮活動に取り組むまちづくりを推進することを目的に、環境学習・教育施策を実施する。

○環境フェア	3,734千円
○小中学生向け「地球環境・エネルギー」教室【新規】	137千円
○環境教室	548千円
○自然観察会	295千円
○生物多様性啓発事業【新規】	61千円
○市民団体との協働事業【新規】	86千円
○生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業	422千円
○環境交流プラザでの環境啓発イベント等の開催	1,849千円
○環境ボランティアの育成	960千円

◇環境負荷低減行動推進事業（４．３．１）（予算：9,957千円）

○地球温暖化対策実行計画の策定	8,186千円
パリ協定を踏まえ、国の地球温暖化対策計画が策定されたことを受け、本市の地球温暖化対策実行計画を策定する。	
○エコアクション21推進事業	700千円
○緑のカーテン推進事業	806千円

◇新エネルギー政策推進事業（４．３．１）（予算：7,183千円）

○エネファーム設備導入費補助金	7,000千円
《平成29年度の主な拡充項目》	
・導入費補助の基本単価	10万円を 15万円 に拡大
・既築住宅やLPガス世帯には、	それぞれ3万円 の上乗せ

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○国際基準の安全安心まちづくり		
暴力追放推進協議会助成	2 1 18	4,629
学校周辺安全対策事業	8 2 4	51,895
○災害に強い都市づくり		
老朽家屋除却促進事業	8 1 2	31,000
予防的道路補修事業	8 2 2	377,000
橋りょう長寿命化事業	8 2 5	164,500
橋りょう耐震補強事業	8 2 6	601,000
消防水利整備事業	9 1 3	100,306
消防団格納庫整備事業	9 1 3	147,377
消防施設等拡充事業	9 1 3	55,500
○環境問題への対策強化		
上津クリーンセンター改修事業	4 2 2	1,364,734
環境美化促進事業	4 3 1	2,379
環境関連産業支援事業	4 3 1	1,456
自然環境の保全と共生事業	4 3 1	417

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

④文化芸術、スポーツを活かしたまちづくり

久留米シティプラザや久留米市美術館を核として、音楽、演劇、美術展覧会や様々なイベントなどの楽しみを創り出すとともに、市民が主役になった文化芸術活動の振興を図ります。さらに、音楽を活かして人とまちを元気にするような、音楽があふれるまちづくりを進めます。

また、久留米総合スポーツセンター内の総合的な体育施設や、身近な運動の場の整備を進めながら、目的に応じた健康づくりやスポーツ活動を行える場や機会の充実を図り、生涯を通じた市民スポーツや競技スポーツの振興に取り組みます。

◆文化芸術の振興

◇美術館事業（10.6.1）（予算：300,658千円）

平成28年11月にオープンした久留米市美術館が、文化芸術の発信・創造の拠点として発展していくよう、円滑で魅力的な管理運営を行う。

○美術館指定管理料	152,014千円
・展覧会の開催	19,154千円
川端康成 美と文学の森	
夢の美術館一めぐりあう名画たち	
じっと見る 石橋財団コレクション展(仮称)	
没後20年特別展 星野道夫の旅	
生誕120年 東郷青児展	
コレクション展	
○美術品購入費	100,000千円
○美術振興基金積立金	42,624千円

◇音楽によるまちづくり推進事業（10.6.1）（予算：17,502千円）

“音楽を活かして人とまちを元気にする”という考えのもと、音楽を基軸としてまちなかが音楽であふれるようなイベントの開催や若手ミュージシャンの育成・支援などを行う。

○くるめ街かど音楽祭事業	13,547千円
○くるめライブチャレンジ事業（人材発掘・支援事業）	2,500千円
○邦楽振興事業	1,455千円

◇久留米シティプラザ事業（10. 6. 8）（予算：640, 298千円）

- | | |
|---|-----------|
| ○文化創造事業 | 100,000千円 |
| 多様かつ上質な文化芸術の鑑賞事業や久留米ならではの演劇・伝統文化事業、子どもの創造力・感性を高める多様な事業、地域と連携した賑わい・文化創造事業の4つの柱を基本に、上質で話題性のある事業を様々なジャンルで展開する。 | |
| チェコ・フィルハーモニー管弦楽団公演
アマデウス
ダディ・ロング・レッグズ
久留米たまがる大道芸事業
子どもやファミリーを対象とした文化鑑賞事業
くるめ演劇塾
はじめてのえんげき祭
能舞台等邦楽事業 など | |
| ○魅力向上・発信事業 | 42,891千円 |
| 久留米シティプラザの魅力を高めるとともに、情報を広く発信するため、広報活動などを行う。 | |
| ・イルミネーションの設置【新規】 | 6,600千円 |
| ・シンボルツリーライトアップ照明の設置【新規】 | 2,835千円 |
| ○施設管理費 | 486,522千円 |

◆スポーツの振興

◇市民スポーツ推進事業（10. 7. 1）（予算：6,053千円）

- | | |
|---|---------|
| ○運動習慣づくり事業補助金【新規】 | 1,046千円 |
| 主に運動習慣がない人を対象に、運動する機会を提供するため、運動教室の実施や講師の派遣を行う。 | |
| ○トップアスリート支援事業補助金【新規】 | 1,800千円 |
| 国際大会等で活躍することが期待される久留米市ゆかりのジュニアアスリートに対し支援を行う。 | |
| ○ジュニアアスリート競技力向上支援【新規】 | 756千円 |
| 将来のトップアスリート輩出の一助とするため、トップアスリートを目指すジュニア世代を対象に、レベルの高い指導者によるスポーツ教室を開催する。 | |

◇総合武道館整備事業（10.7.2）（予算：1,986,544千円）

久留米総合スポーツセンター内の体育館及び武道館、弓道場の一体的な改築を福岡県と連携して行い、総合的な体育施設を整備する。

○県施行事業地元負担金	1,782,406千円
・新施設の本体工事	1,654,756千円
・新施設と陸上競技場側をつなぐ上空通路工事	94,180千円
・備品等初度調度品	15,682千円
・オープン式典他事務費等	5,506千円
○市施工整備	95,174千円
・備品等初度調度品	70,403千円
・弓道場安土設置委託等	22,628千円
・その他外構整備等	2,143千円
○駐車場対策	108,964千円

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○文化芸術の振興		
市民文化振興体制の充実	10 6 1	270,216
歴史資料収集活用事業	10 6 1	85,980
○スポーツの振興		
住区基幹公園等整備事業《再掲》	8 4 4	190,012
身近な広場整備事業《再掲》	8 4 4	32,000
スポーツ大会振興事業	10 7 1	7,688
総合型地域スポーツクラブ支援事業《再掲》	10 7 1	376
市民温水プール施設改修事業	10 7 2	140,181

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

(3) 住み続けたいと思える、住み続けられる地域社会の形成

① 特長を活かした地域産業の元気づくり

収益性の高い農業経営の実現を支援し、若者にとっても職業として選択できる魅力ある農業の実現を図るとともに、緑花木の振興や地域との協働による農村地域の活性化に向けた取り組みを積極的に展開します。

商工業については、既存産業の技術革新、高付加価値化や新産業の創出、農商工連携を進めるとともに、海外への販路開拓の支援など、地域産業の元気づくりに取り組みます。また、自動車関連産業など戦略的企業誘致を一層推進するとともに、その受け皿となる新しい産業団地の整備に取り組みます。

◆ 職業として選択できる農業の実現

◇ 担い手経営力強化事業（6. 1. 3）（予算：11,721千円）

土地利用型農業における持続性のある担い手組織の育成を図るため、集落営農組織の法人化を推進するなど、担い手の経営力強化に向けた支援を行う。

○集落営農法人化支援事業費補助金	9,000千円
○園芸作物導入支援事業費補助金	2,500千円

◇ 久留米産農産物の販売力強化事業（6. 1. 3）（予算：17,866千円）

農業所得の向上を目指し、久留米産農産物のブランド化や輸出、6次産業化や農商工連携など、久留米産農産物の販売力強化に取り組む。

○農産物ブランド化事業	6,238千円
・久留米ブランド農産物の育成	4,238千円
・久留米産農産物のPR映像作成【新規】	2,000千円
○農産物輸出促進事業	4,237千円
・九州フェアPR支援（シンガポール）【新規】	241千円
○6次産業化推進事業	3,691千円
・6次産業化推進事業費補助金	3,000千円
○農商工連携支援事業	3,700千円
・農商工連携見本市の開催	2,400千円

◇青年・女性農業者育成事業（6. 1. 3）（予算：119, 845千円）

次世代の担い手を確保・育成するため、就農前の農業技術の習得や就農後の経営力向上のための支援を行うとともに、青年農業者や女性農業者の育成・活動支援を行う。

○農業次世代人材投資事業費補助金	111,125千円
○農業実践研修事業費補助金	3,000千円
○就農支援金【新規】	3,000千円
○担い手育成総合支援協議会補助金 ・女性農業者研修会	1,620千円 236千円

◇園芸農業等総合対策事業（6. 1. 3）（予算：1, 239, 679千円）

高い収益性と活力ある園芸作物の産地形成やその持続的な発展を促進するため、ハウス等の施設や省力機械等の整備に係る経費の一部を助成する。

○活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金	324,908千円
○産地パワーアップ事業費補助金	892,715千円

◇みどりの里地域活性化事業（6. 1. 3）（予算：14, 270千円）

耳納北麓地域の活性化と緑花木産業の振興を目指すため、数多く点在する地域資源を活用した取り組みを実施する。

○農家民泊実施に向けた体制整備【新規】	4,184千円
○耳納北麓地域農業体験等事業	1,422千円
○フルーツ観光モデル事業費補助金	3,500千円
○緑花木販路拡大事業費補助金【新規】	1,000千円
○巨峰開植60周年記念事業費補助金【新規】	1,000千円
○つばきフェア補助金	3,100千円

◇久留米つつじ振興対策事業【新規】（6. 1. 3）（予算：40, 589千円）

市の花である「久留米つつじ」の生産振興を図るため、名所の再整備やイベントでのPR等を実施する。

○つつじの名所再整備事業	34,500千円
・久留米森林つつじ公園	5,000千円
・久留米百年公園	24,500千円
・筑後川くるめつつじ園	5,000千円
○緑花木出展事業（首都圏）	1,089千円
○つつじサミット補助金	2,000千円
○つつじまつり60周年記念事業費補助金	3,000千円

◆商工業の元気づくり

◇雇用・就労推進事業（5. 1. 1）（予算：21, 082千円）

次代を担う若い世代の地元企業への就労促進や働きやすい職場環境の整備などを図るため、産学官金労一体となって、地元企業の魅力発信や働き方改革の推進などに取り組む。

○インターンシップに向けた企業説明会の開催【新規】	1, 588千円
○地元企業の魅力発信情報誌の作成	6, 374千円
○若年者向け合同会社説明会の実施	3, 121千円
○社外同期づくり「シェア研修」事業【新規】	779千円
○職業観育成セミナーの開催	997千円
○「働き方改革」推進気運醸成事業【新規】	303千円
○雇用実態調査	4, 200千円

◇バイオ産業振興事業（7. 1. 2）（予算：118, 111千円）

福岡県と連携して、バイオ技術を核とする新産業の創出やベンチャー企業等の集積を推進するとともに、地域企業や大学と理化学研究所の連携事業を推進する。

○バイオ産業振興事業費補助金	23, 817千円
○バイオベンチャー等育成事業費補助金	92, 960千円
・理研・大学・地域企業との連携事業【新規】	60, 959千円
・新製品・新技術創出研究開発支援	20, 666千円
・機能性食品開発支援	7, 850千円
・販路開拓支援	3, 485千円

◇ビジネスインキュベーション支援事業（7. 1. 2）

（予算：24, 050千円）

地域産業の振興に資するため、インキュベーション機能の拡充や創業ロケットを中心とした産学官金の連携による創業支援体制の充実など、ビジネス支援を行うとともに、知的財産の普及啓発を促進する。

○ビジネスインキュベーション事業費補助金	18, 937千円
○知的財産普及活用推進事業費補助金	4, 899千円

◇新産業・新技術支援事業（7. 1. 2）（予算：50, 711千円）

新産業の創出・育成及び地域企業の技術革新のため、地域の中小企業と他企業や研究機関を引き合わせるコーディネート支援など、地域産業支援基盤の充実を図る。

○産業技術振興事業費補助金	48, 528千円
・久留米市ものづくり支援事業	28, 528千円
・オープン・ラボ機能充実支援	10, 000千円
・テクニカルコーディネーターの設置	8, 000千円
○ふるさともものづくり支援事業費補助金	2, 000千円

◇地域企業育成事業（7. 1. 2）（予算：16, 555千円）

地域経済の活性化を図るため、地域企業が取り組む商品開発や販路開拓を支援する。

○販路開拓支援事業	8, 273千円
・売れる商品づくり支援事業【新規】	4, 156千円
・販路開拓人材育成事業【新規】	1, 500千円
・展示会等出展補助	2, 000千円
○商談会等の開催	2, 932千円
○中小企業経営改善支援事業	3, 585千円
○首都圏での地酒振興イベント事業【新規】	1, 089千円

◇新産業団地整備事業（7. 1. 2）（予算：779, 057千円）

○新産業団地公共施設整備費負担金	778, 807千円
------------------	------------

福岡県・うきは市と連携して推進する、久留米・うきは工業用地造成事業について、市域内の道路や水路等の公共施設整備費用を負担することにより、効果的な産業集積に向けた競争力のある受け皿の整備を図る。

◇インバウンド推進事業（7. 1. 4）（予算：13, 823千円）

地域経済の活性化を図るため、フルーツ狩りなどの地域資源をPRしながら、外国人観光客の受入体制の整備や誘致を推進する。

○国際情報発信	3, 134千円
・多言語観光PRパンフレットの作成	1, 717千円
・ウェブ版フルーツ狩りマップの多言語化【新規】	879千円
・海外プロモーション用PRポスターの作成【新規】	238千円
○外国人旅行客受入れ環境整備補助金	1, 200千円
○インバウンド宿泊促進助成金【新規】	3, 000千円
○東南アジア等交流調査事業【新規】	4, 500千円

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○職業として選択できる農業の実現		
水田農業等総合対策事業	6 1 3	90,733
畜産振興総合対策事業	6 1 4	459,755
農地防災事業	6 1 5	87,385
農村総合整備事業	6 1 5	189,592
農業用施設整備事業	6 1 5	202,726
生産基盤整備事業	6 1 7	306,841
生産環境整備事業	6 1 7	345,750
○商工業の元気づくり		
若年者雇用安定促進事業	5 1 1	5,035
女性労働者の活躍促進事業《再掲》	5 1 1	2,366
産業振興奨励金	7 1 2	467,683
企業誘致推進事業	7 1 2	9,511
海外ビジネス展開促進事業	7 1 2	4,855
地域商業支援事業	7 1 2	117,356

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

②広域求心力づくり

久留米シティプラザをはじめとしたまちなかの様々な都市空間を活用し、人々が良質な刺激を与え合う都市型の交流拠点づくりを推進します。

観光においては、歴史、文化、自然など地域ごとに様々な個性的魅力を持つ久留米市のポテンシャルを活かした地域密着観光やアジアからの観光客誘致などを戦略的に展開し、観光・交流都市としての飛躍を目指します。

また、学術研究機能のさらなる集積など、県南地域の中核都市としての機能を果たせる都市づくりを推進するとともに、連携中枢都市圏の取り組みとして、移住促進、交流人口の増加などを図るため、圏域の情報受発信拠点となるアンテナショップを東京都内に開設するなど、地域間連携の取り組みを推進します。

◆都市型交流拠点づくり

◇まちなか賑わい創造事業（7. 1. 2）（予算：61, 119千円）

まちなかに新たな賑わいを創出するため、六角堂広場を中心に魅力あるイベント等を開催するとともに、まちなかの賑わいづくりのサポートや情報発信を行う。

○六角堂広場等賑わい創出事業	33, 000千円
○まちなか地域物産店事業費補助金	8, 124千円
○まちなか賑わいづくり支援・情報発信事業	8, 995千円
○まちなかクリスマス事業【新規】	5, 000千円
○くるめ光の祭典事業補助金	6, 000千円

◇中心部商業活性化事業（7. 1. 2）（予算：25, 700千円）

中心部商業の活性化を促進するため、商業団体等が行うまちなかの賑わいづくりや、空き店舗出店者等への支援の取り組みなど魅力ある商店街づくりに助成する。

○中心市街地商店街等活性化パートナー出店促進事業費補助金	10, 000千円
○人にやさしい商店街づくり事業費補助金	9, 716千円
・商店街元気プロジェクト【新規】	3, 386千円
○タウンモビリティ運営業務委託	2, 530千円
○空き店舗リノベーション促進イベント事業【新規】	1, 198千円

◆観光・交流都市への飛躍

◇Wi-Fi環境整備事業（2. 1. 12）（予算：4, 481千円）

- Wi-Fi環境整備 4, 481千円
外国人を含む来街者の利便性や回遊性の向上を図るため、観光スポット等に無料でインターネットを利用できる公衆無線LANの整備を行う。

◇友好姉妹都市交流の活用（2. 1. 18）（予算：19, 250千円）

- モデスト市姉妹都市締結25周年記念事業 18, 000千円
姉妹都市締結25周年を迎える米国・モデスト市とのさらなる交流の促進と、友好関係の強化を図るため、記念事業を実施する。

◇くるめの魅力発信事業（2. 1. 18）（予算：37, 759千円）

主なターゲット地を首都圏と福岡都市圏に定め、首都圏に向けては久留米の認知度の向上、福岡都市圏に向けては久留米の魅力の浸透に取り組む。

- シティプロモーション推進事業費補助金 36, 468千円
・ふるさと特別大使の活用 7, 770千円
・久留米フェスティバルin天神の実施 10, 300千円
・久留米キャンペーンの実施【新規】 1, 300千円
・シティプロモーション特設サイト開設【新規】 3, 000千円
・プロモーションツールの作成・充実 5, 000千円

◇観光プロモーション推進事業（7. 1. 4）（予算：18, 639千円）

本市のイメージや知名度、魅力の向上を図り、交流人口の拡大を図るため、効果的なキャンペーンや観光商品の造成を行う。

- (公財)久留米観光コンベンション国際交流協会補助 18, 165千円
・首都圏での観光キャンペーン事業【新規】 2, 481千円
・キャンペーン活動 1, 545千円
・観光PRタイアップ商品造成 2, 151千円
・観光パンフレット等作成 2, 470千円
・観光商品づくり推進事業 8, 839千円

◇地域密着観光事業（7. 1. 4）（予算：8, 461千円）

交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指し、魅力ある地域資源を活用した周遊型ツーリズムの商品造成などを行う。

- 周遊観光推進事業費補助金 961千円
○地域おこし協力隊活動費 3, 955千円
○筑後川活用観光開発事業補助金 770千円
○地域密着観光推進支援事業 1, 665千円

◇耳納北麓グリーンアルカディア観光推進事業（7. 1. 4）

（予算：10, 291千円）（3月補正予算：109, 997千円）

- | | |
|---|-----------|
| ★田主丸ふるさと会館再整備事業【新規】 | 98, 997千円 |
| 田主丸ふるさと会館を再整備し、観光案内や情報発信の機能を強化するとともに、新たに飲食や特産品販売スペースの設置、ブランディング・テストマーケティングの機能を付加する。 | |
| ・田主丸ふるさと会館改修工事等 | 89, 957千円 |
| ・観光案内サイン設置工事等 | 4, 500千円 |
| ★魅力発信強化事業【新規】 | 11, 000千円 |
| 耳納北麓エリアへの誘客の推進と周遊性の向上のため、この地域の魅力である「食」をテーマに、訪れたいくなる店の発掘や積極的な情報発信を行う。 | |
| ・耳納北麓エリアの「食」の認定 | 250千円 |
| ・リーフレットの作成 | 350千円 |
| ・観光情報誌の発行 | 5, 400千円 |
| ・マスメディアとの連携等による情報発信 | 5, 000千円 |
| ○耳納北麓散策ルート活用事業【新規】 | 402千円 |
| ○耳納北麓サイクルイベント補助金 | 900千円 |
| ○SNSを活用したフォトイベント事業【新規】 | 308千円 |
| ○久留米版DMO設立支援事業 | 8, 417千円 |

◇MICE誘致推進事業（7. 1. 4）（10. 7. 1）

（予算：38, 646千円）

- | | |
|---|-----------|
| ○(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会補助 | 28, 732千円 |
| ・コンベンション開催支援補助金 | 16, 600千円 |
| ・コンベンションバッグの作成【新規】 | 2, 085千円 |
| ・コンベンション開催PR事業【新規】 | 3, 828千円 |
| ・アフターコンベンション商品造成事業 | 3, 901千円 |
| ○スポーツコンベンション誘致強化補助金 | 8, 900千円 |
| 平成30年の（仮称）久留米スポーツセンター体育館オープンや平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催などを見据え、全国・九州規模のスポーツ大会や事前キャンプの誘致を推進する。 | |

◆広域拠点都市づくり

◇アンテナショップ運営事業（2. 1. 7）（予算：70, 523千円）

久留米広域連携中枢都市圏への移住促進や交流人口の増加、特産物の販路拡大を図るため、東京新橋に「観光・移住等の情報発信機能」、「特産物のPR及び販売機能」、「飲食機能」を有した圏域の情報受発信拠点となる「アンテナショップ」を開設・運営する。

○アンテナショップ施設借上料等	38, 048千円
○アンテナショップ施設整備費	23, 106千円
○アンテナショップ運営費等	9, 369千円

◇学術研究都市推進事業（2. 1. 7）（予算：40, 670千円）

学術研究機能等の集積を活かした「久留米学術研究都市」づくりを推進するため、市内高等教育機関や試験研究機関等の機能拡充の促進及び機関相互の有機的なネットワーク形成を進め、産学官連携の基盤形成・強化を図る。

○学術研究機能拡充促進補助金	37, 000千円
○久留米学術研究都市づくり推進協議会補助金	3, 593千円

○その他の主な事業

事業名	款 項 目	事業費（単位：千円）
○都市型交流拠点づくり		
シンボルロード整備関連事業	8 4 1	10,150
駐車場情報提供事業	8 4 1	4,287
久留米シティプラザ魅力向上・発信事業《再掲》	10 6 8	42,891
○観光・交流都市への飛躍		
国際交流組織強化事業	2 1 18	32,460
みどりの里地域活性化事業《再掲》	6 1 3	14,270
九州オルレ推進事業	7 1 4	2,999
インバウンド推進事業《再掲》	7 1 4	13,823
山苞の道歩道等整備事業《再掲》	8 2 3	22,000
都市景観形成促進事業	8 4 1	4,999
花とみどりの景観整備事業	8 4 5	6,550
筑後国府跡歴史公園整備事業	10 6 1	57,423
歴史ルートづくり事業	10 6 1	15,755
歴史資料収集活用事業《再掲》	10 6 1	85,980
○広域拠点都市づくり		
連携中枢都市圏推進事業	2 1 7	4,874
行政データ利用促進事業	2 1 12	10,877

※その他の主な事業については、他のページの事業と重複して掲載しているものがあります。

(4) その他の主な事業

◇議会設備改修事業(1. 1. 1)(予算: 95, 750千円)

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| ○議会設備の改修工事 | 95, 750千円 |
| 市議会の各会議を円滑に運営するため、老朽化した議会設備を改修する。 | |

◇議会ICT化事業【新規】(1. 1. 1)(予算: 4, 842千円)

- | | |
|---|----------|
| ○タブレット端末の導入 | 4, 842千円 |
| ICTを活用した議会運営の活性化に向けた取り組みとして、「情報の共有化」「情報の発信」「ペーパーレス化」「議員活動の効率化」を図るため、タブレット端末を導入する。 | |

◇市民会館跡地活用事業(2. 1. 6)(予算: 213, 016千円)

用途廃止した市民会館を解体するとともに、市役所市民駐車場の駐車台数不足を解消するため、市民会館跡地を活用し、暫定駐車場を整備する。

- | | |
|-------------|------------|
| ○市民会館の解体等 | 189, 603千円 |
| ○暫定市民駐車場の整備 | 19, 738千円 |

◇ふるさと・久留米応援事業(2. 1. 18)(予算: 1, 859, 864千円)

ふるさと・くるめ応援寄付制度による寄付の拡大とリピーターの確保を図るとともに、特設サイトの活用により久留米の魅力を発信する。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ○記念品購入費 | 600, 000千円 |
| ○ふるさと久留米応援基金積立金 | 1, 200, 000千円 |
| ○寄付促進PR広告料 | 42, 992千円 |
| ○システム利用料 | 11, 094千円 |

※「ふるさと・くるめ応援寄付(ふるさと納税)」によりいただきました寄付金は、一旦、その全額を「ふるさと久留米応援基金」に積み立てております。積み立てをいたしました「ふるさと久留米応援基金」の活用状況については、P44で紹介しております。

◇ドッグラン施設整備事業【新規】(8. 4. 4)(予算: 25, 534千円)

公園利用者と犬が安全・快適に利用でき、飼い主同士の情報交換やマナー向上の場を提供するために、ドッグラン施設を整備する。

- | | |
|-------------|-----------|
| ○ドッグラン施設の整備 | 21, 600千円 |
| ○施設管理費等 | 3, 934千円 |

3. 主な新規事業

平成29年度の新規事業は、92件 1,036,377千円です。

平成28年度3月補正予算を含めると、95件 1,393,974千円です。

このうち主な新規事業は、次のとおりです。

◎平成29年度当初予算（一般会計）

No.	頁	主な新規事業	予算額 (単位：千円)	事業内容
1	22	高齢運転者の免許自主返納支援事業	15,975	交通事故の防止、交通安全の向上の観点から、運転に不安を覚える高齢運転者が自主的に運転免許を返納するきっかけとなるよう支援を行う。
2	22	校区青パト活動支援事業	11,480	市内全校区への青パト配備を促進し、地域における防犯活動を支援するため、青パト車両のリース経費や活動経費を助成する。
3	18	重症心身障害児・者地域生活支援事業 (医療的ケア訪問看護事業)	4,440	施設への移動に過度の負担がかかる在宅の重症心身障害児・者等の自宅へ看護師を派遣し、医療的ケアを伴う見守りを実施する。
4	7	待機児童解消事業 (保育士人材確保対策事業)	61,910	年度当初や中途において保育所等の受け入れ態勢の充実を図るため、保育所等が職員配置基準を超えて保育士を雇用する経費を助成する。
5	7	待機児童解消事業 (潜在保育士就職支援給付金給付事業)	2,000	保育所等の受け入れ態勢の充実を図るため、潜在保育士が、市内の保育所等に一定期間継続して就業しようとする場合に、給付金を支給する。
6	9	子育て世代包括支援事業	36,384	妊娠期から子育て期にわたる様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地からワンストップで包括的な相談支援等を行う(仮称)くるめ親子支援センターを設置する。
7	17	健康のびのびプロジェクト事業 (夏期巡回ラジオ体操の開催)	1,434	「誰でも、いつでも、どこでも、手軽に取り組める」ラジオ体操を通じた健康づくりをさらに推進するため、夏期巡回ラジオ体操を誘致・開催する。
8	29	久留米産農産物の販売力強化事業 (久留米産農産物のPR映像作成)	2,000	福岡県内最大の農業生産を誇る農業都市としての魅力を発信し、久留米産農産物の認知度の向上を図るため、PR映像を作成する。
9	30	久留米つつじ振興対策事業	40,589	市の花である「久留米つつじ」の生産振興を図るため、つつじの名所の再整備やイベントでのPR等を実施する。
10	31	バイオ産業振興事業 (理研・大学・地域企業との連携事業)	60,959	理化学研究所と大学や地域企業が連携して行う革新的な機能性食品や医薬品の開発を支援し、理化学研究所の一部機能移転を目指す。

No.	頁	主な新規事業	予算額 (単位：千円)	事業内容
11	32	地域企業育成事業 (売れる商品づくり支援事業)	4,156	アンテナショップで取り扱う地場企業の商品を、出品者がより魅力的な商品にブラッシュアップ出来るようアドバイザーを招聘し、「売れる商品づくり」を支援する。
12	23	防災対策強化事業 (防災シンポジウムの開催)	931	大規模災害を踏まえ、市民の安全・安心な生活を守るため、防災への意識を醸成するシンポジウムを開催する。
13	22	キラリ照明灯整備事業	16,921	夜間における交通安全の向上と犯罪の抑止を図ることを目的に、道路照明灯と防犯灯を補完する「キラリ照明灯」の整備を行う。
14	18	身近な広場整備事業	32,000	身近な憩いや健康づくりの場、子どもたちの遊び場として、近隣居住者の利用を主な目的とした小規模な公園を整備する。
15	4	都市基幹公園等整備事業 (リバーサイドパーク宮ノ陣)	56,700	筑後川河川敷(宮ノ陣地区)に、スポーツ、レクリエーションや憩いの場、また災害時には防災の拠点となる公園施設を整備する。
16	4	都市基幹公園等整備事業 (河川敷駐車場)	161,450	久留米総合スポーツセンター周辺エリアの施設の利用促進を図るため、筑後川河川敷(百年公園北地区)に駐車場を整備する。
17	12	中学校コミュニティ・スクール(久留米版)推進事業 (学習習慣定着支援)	4,302	地域学校協議会の提言を受けて運営する学習習慣定着支援事業(学習サポーターによる放課後等学習支援活動)に対し、交付金を支給する。
18	27	市民スポーツ推進事業 (トップアスリート支援事業補助金)	1,800	国際大会等で活躍することが期待される久留米市ゆかりのジュニアアスリートに対し支援を行う。

◎平成29年度当初予算（特別会計）

No.	頁	主な新規事業	予算額 (単位：千円)	事業内容
1	5	地域介護予防活動支援事業 ((仮称)介護予防サポーター養成講座) ＜介護保険事業特別会計＞	6,612	地域での介護予防の取り組みを支援するために、介護予防についての知識や方法を学ぶ講座を開催する。
2	19	地域包括ケアシステム推進事業 (地域リハビリテーション活動支援事業) ＜介護保険事業特別会計＞	7,819	地域で介護予防に取り組む団体に対して、運動や体力測定の方法などを指導するリハビリテーションの専門職を派遣するとともに、介護職員等向けに介護予防に関する研修を実施する。
3	19	認知症高齢者見守り事業 (行方不明高齢者位置情報検索サービス利用補助金) ＜介護保険事業特別会計＞	1,404	認知症により行方不明になる可能性の高い高齢者等の事故防止と早期発見・保護及び家族の負担軽減を図るために、位置情報検索サービス(GPS等)の利用開始に係る費用を助成する。

◎平成28年度3月補正予算

No.	頁	主な新規事業	予算額 (単位：千円)	事業内容
1	36	耳納北麓グリーンアルカディア観光推進事業 (田主丸ふるさと会館再整備事業)	98,997	田主丸ふるさと会館を再整備し、観光案内や情報発信の機能を強化するとともに、新たに飲食や特産品販売ブースの設置、ブランディング・テストマーケティングの機能を付加する。
2	36	耳納北麓グリーンアルカディア観光推進事業 (魅力発信強化事業)	11,000	耳納北麓エリアへの誘客の推進と周遊性の向上のため、この地域の魅力である「食」をテーマに、訪れたくなる店の発掘や積極的な情報発信を行う。
3	11	中学校空調機整備事業 (中学校特別教室への空調機の設置)	247,600	中学校における学習環境を改善するため、既に設置済みの学校を除く、全ての学校の理科室及び音楽室に、空調機を整備する。

4. 財政状況

平成29年度当初予算時点における主要4基金※の活用額は、40億円としています。なお、決算時点での基金取り崩し額が極力少なくなるよう、予算執行においてはさらなる創意工夫を図り、事務事業の経費節減に努めます。

また、市債の発行にあたっては、交付税措置のある有利な地方債から優先的に活用し、可能な限り実質的な市債残高を抑制するよう努めます。

※主要4基金とは、財政調整基金・都市建設基金・減債基金・土地開発基金のことです。

【基金の状況】

項目	28年度末残高	29年度積立額	29年度取崩額	29年度末残高見込
基金合計	229億1千万円	14億4千万円	72億5千万円	171億円
うち主要4基金	131億7千万円	8千万円	40億円	92億5千万円

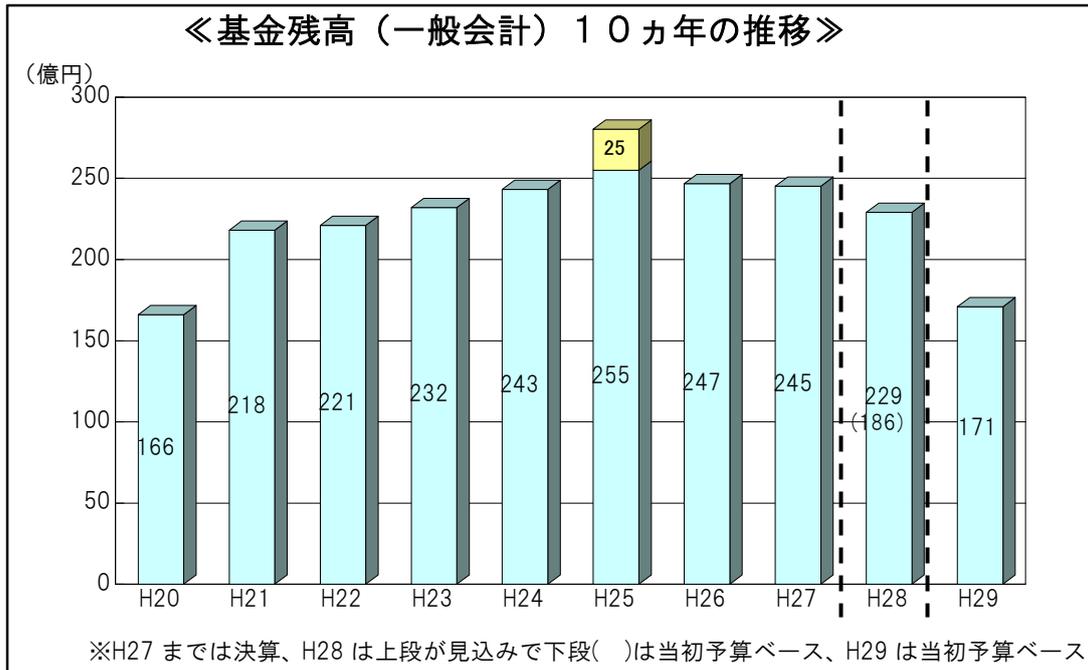
【市債の状況】

項目	28年度末残高	29年度借入額	29年度償還額	29年度末残高見込
市債	1,439億円	138億2千万円	118億3千万円	1,458億9千万円
うち臨時財政対策債	494億8千万円	46億5千万円	31億3千万円	510億円
差し引き通常債等	944億2千万円	91億7千万円	87億円	948億9千万円

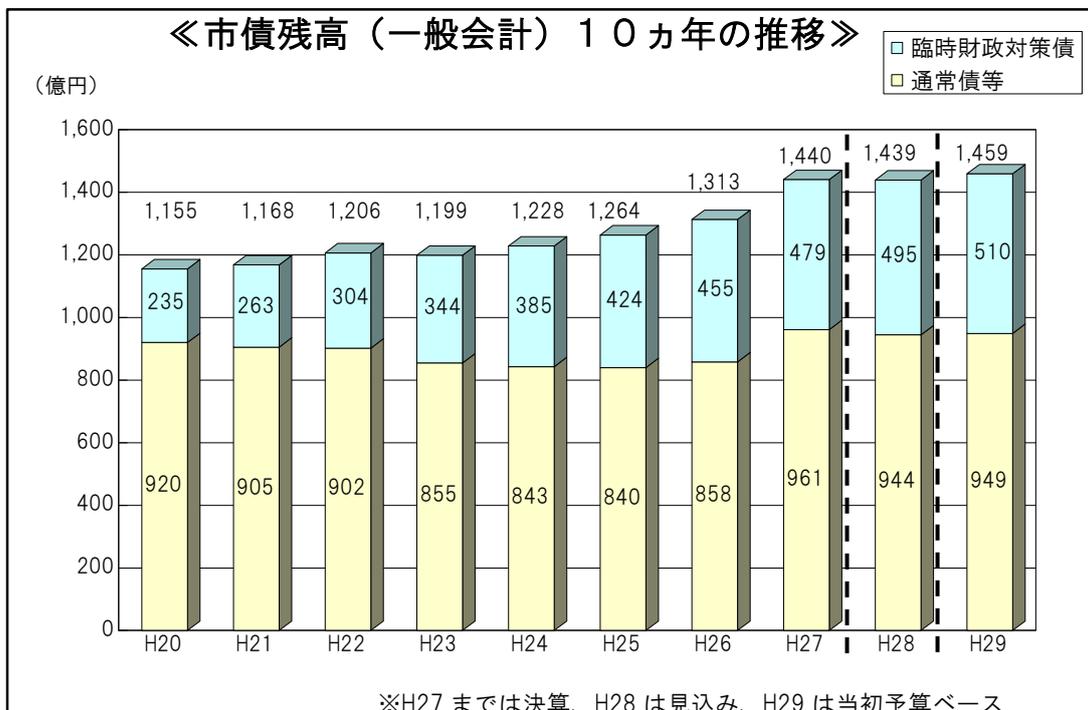
*臨時財政対策債・・・形式的には自治体が地方債を発行するが、償還に要する費用は後年度の地方交付税で全額措置されるため、実質的には交付税の代替財源とみることができる。

【地方債区分ごとの借入状況（当初予算ベース）】

地方債区分	28年度予算	29年度予算	増減
通常債等（建設地方債）	78億7千万円	91億7千万円	13億円
通常債	72億2千万円	74億9千万円	2億7千万円
合併特例債	6億5千万円	16億8千万円	10億3千万円
臨時財政対策債	43億1千万円	46億5千万円	3億4千万円
合計	121億8千万円	138億2千万円	16億4千万円



- * 平成29年度予算：主要4基金40億円の取り崩し（当初予算）。
- * 平成25年度末残高は、「地域活性化元気基金（25年度積立、26年度活用期限）」約25億円を含む。



- * 平成29年度末の市債残高見込は、市民一人あたり約47.6万円。
 - * 臨時財政対策債を除く負担は、市民一人あたり約31.0万円。
- なお、通常債等は合併特例債など地方交付税による財源措置があるものも含まれます。
- ※平成29年2月1日人口306,329人で算定

【平成29年度予算における「ふるさと久留米応援基金」の活用状況】

「ふるさと・くるめ応援寄付」は、「ふるさとを応援したい」「ふるさとに貢献したい」という皆様の思いを、まちづくりに活かさせていただく制度です。

全国の皆様からいただいた寄付金は、一旦、その全額を「ふるさと久留米応援基金」に積み立て、ご寄付の際に寄付者の皆様から指定された応援メニュー（寄付金の使い道）に従い、基金を取り崩し、事業に活用させていただきます。

平成29年度予算におけるふるさと久留米応援基金の活用状況は以下のとおりです。

応援メニュー	活用事業	活用額(千円)
1. 未来に羽ばたけ！ くるめっ子	くるめ学力アップ推進事業	88,000
	コミュニティ・スクール推進事業	28,000
	英語教育充実事業	15,000
	不登校対応総合推進事業	44,000
	学校施設の長寿命化事業	57,000
	私立保育所・認定こども園施設整備事業	59,000
	保育士人材確保対策事業・潜在保育士就職支援給付金給付事業	21,000
小計		312,000
2. 歴史・文化・芸術を 楽しむ	美術館事業	30,000
	歴史資料収集活用事業	80,000
小計		110,000
3. いつまでも健康に 過ごす	健康のびのびプロジェクト事業	10,000
	生活困窮者自立支援事業	15,000
	地域医療連携事業	25,000
	救急医療施設運営費等助成事業	15,000
	その他	19,000
小計		84,000
4. ふるさとの花と緑を ふやす	久留米つつじ振興対策事業	20,000
	みどりの里づくり事業・みどりの里地域活性化事業	10,000
	街路樹・緑化施設の管理	17,000
	市民とつくる花と緑のまちづくり	10,000
小計		57,000
5. くるめの魅力を 伝える	筑後川花火大会、久留米水の祭典などイベント振興事業	34,000
	まちなか賑わい創造事業	10,000
小計		44,000

6. 市長おまかせコース	子育て世代包括支援事業	10,000
	病児保育事業	20,000
	母子保健事業(妊婦検診、新生児訪問など)	175,000
	特定不妊治療費助成事業	40,000
	久留米シティプラザ事業	88,000
	総合武道館整備事業	70,000
	高齢運転者の免許自主返納支援事業	10,000
	防災対策強化事業	25,000
	校区青パト導入支援事業	10,000
	キラリ照明灯整備事業	15,000
	セーフコミュニティ推進事業	10,000
その他	20,000	
小計		493,000
合計		1,100,000

「ふるさと・くるめ応援寄付」の制度の詳細、「お礼の品」のご紹介、寄付のお申し込みは、
「久留米市ふるさと納税特設サイト」 (<https://furusato-kurume.jp/>) をご覧ください。

5. 予算の姿

(1) 会計別予算総括表

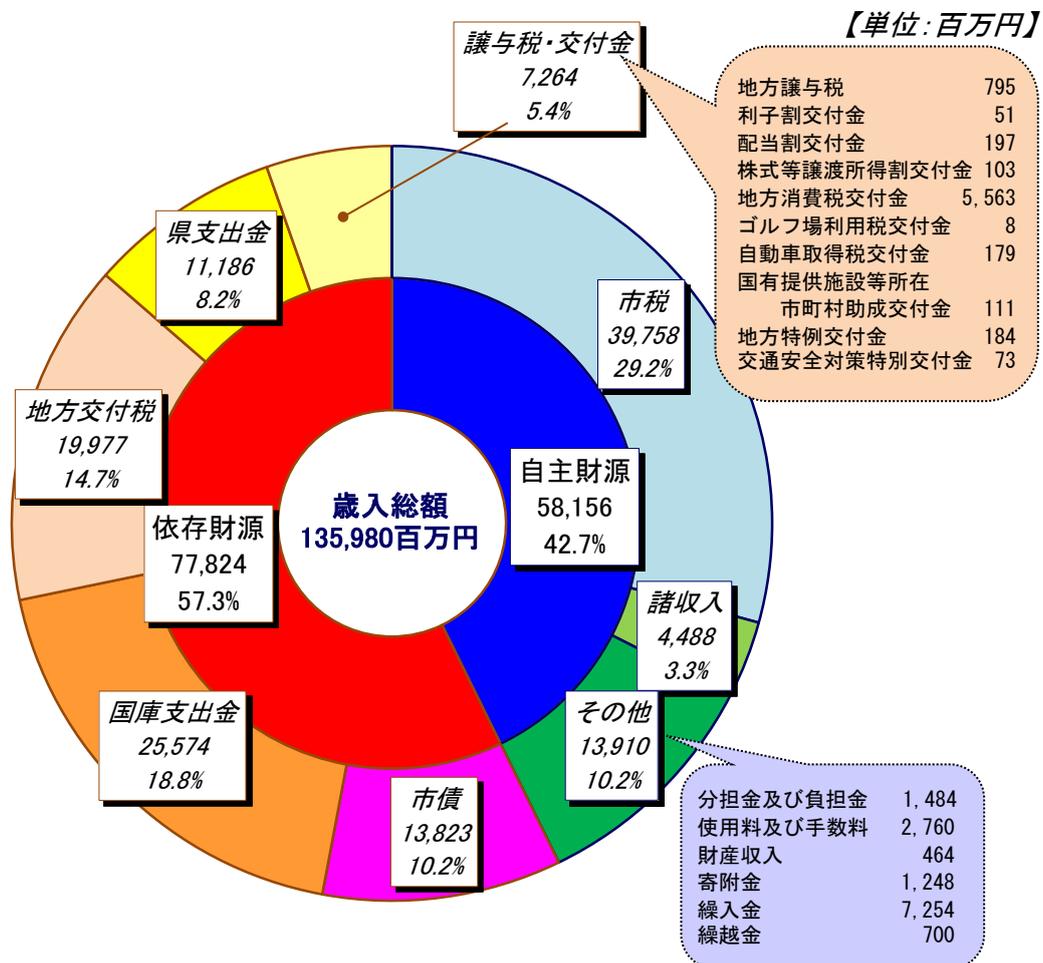
(単位:千円,%)

区 分		平成29年度 当初予算額(A)	平成28年度 当初予算額(B)	比 較	
				増減額(A-B)	増減率
久留米市予算総額		251,852,000	249,068,000	2,784,000	1.1
一 般 会 計		135,980,000	133,440,000	2,540,000	1.9
特 別 会 計	国民健康保険事業	42,220,000	43,090,000	▲ 870,000	▲ 2.0
	競輪事業	18,326,000	17,870,000	456,000	2.6
	中央卸売市場事業	331,000	341,000	▲ 10,000	▲ 2.9
	住宅新築資金等貸付事業	9,000	90,000	▲ 81,000	▲ 90.0
	市営駐車場事業	102,000	87,000	15,000	17.2
	介護保険事業	25,320,000	25,200,000	120,000	0.5
	地方卸売市場事業	29,000	21,000	8,000	38.1
	農業集落排水事業	237,000	238,000	▲ 1,000	▲ 0.4
	特定地域生活排水処理事業	227,000	232,000	▲ 5,000	▲ 2.2
	後期高齢者医療事業	4,184,000	3,897,000	287,000	7.4
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	113,000	107,000	6,000	5.6
	簡易水道事業	0	21,000	▲ 21,000	皆減
	計	91,098,000	91,194,000	▲ 96,000	▲ 0.1
公 営 企 業 会 計	水道事業	7,774,000	7,562,000	212,000	2.8
	下水道事業	17,000,000	16,872,000	128,000	0.8
	計	24,774,000	24,434,000	340,000	1.4

(2) 一般会計歳入

(単位:千円,%)

区 分	平成29年度当初予算額		平成28年度当初予算額		対前年度 伸 率
		構成比		構成比	
1 市税	39,758,003	29.2	38,896,003	29.2	2.2
2 地方譲与税	795,000	0.6	805,000	0.6	▲ 1.2
3 利子割交付金	51,000	0.0	78,000	0.1	▲ 34.6
4 配当割交付金	197,000	0.2	273,000	0.2	▲ 27.8
5 株式等譲渡所得割交付金	103,000	0.1	177,000	0.1	▲ 41.8
6 地方消費税交付金	5,563,000	4.1	5,708,000	4.3	▲ 2.5
7 ゴルフ場利用税交付金	8,000	0.0	9,000	0.0	▲ 11.1
8 自動車取得税交付金	179,000	0.1	149,000	0.1	20.1
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	111,000	0.1	103,000	0.1	7.8
10 地方特例交付金	184,000	0.1	165,000	0.1	11.5
11 地方交付税	19,977,000	14.7	20,385,000	15.3	▲ 2.0
12 交通安全対策特別交付金	73,000	0.1	75,000	0.1	▲ 2.7
13 分担金及び負担金	1,484,488	1.1	1,403,203	1.1	5.8
14 使用料及び手数料	2,759,503	2.0	2,716,469	2.0	1.6
15 国庫支出金	25,574,182	18.8	26,817,749	20.1	▲ 4.6
16 県支出金	11,185,641	8.2	10,184,453	7.6	9.8
17 財産収入	464,442	0.4	655,638	0.5	▲ 29.2
18 寄附金	1,247,650	0.9	960,030	0.7	30.0
19 繰入金	7,254,146	5.3	6,679,915	5.0	8.6
20 繰越金	700,000	0.5	700,000	0.5	0.0
21 諸収入	4,487,945	3.3	4,315,840	3.2	4.0
22 市債	13,823,000	10.2	12,183,700	9.1	13.5
合 計	135,980,000	100.0	133,440,000	100.0	1.9

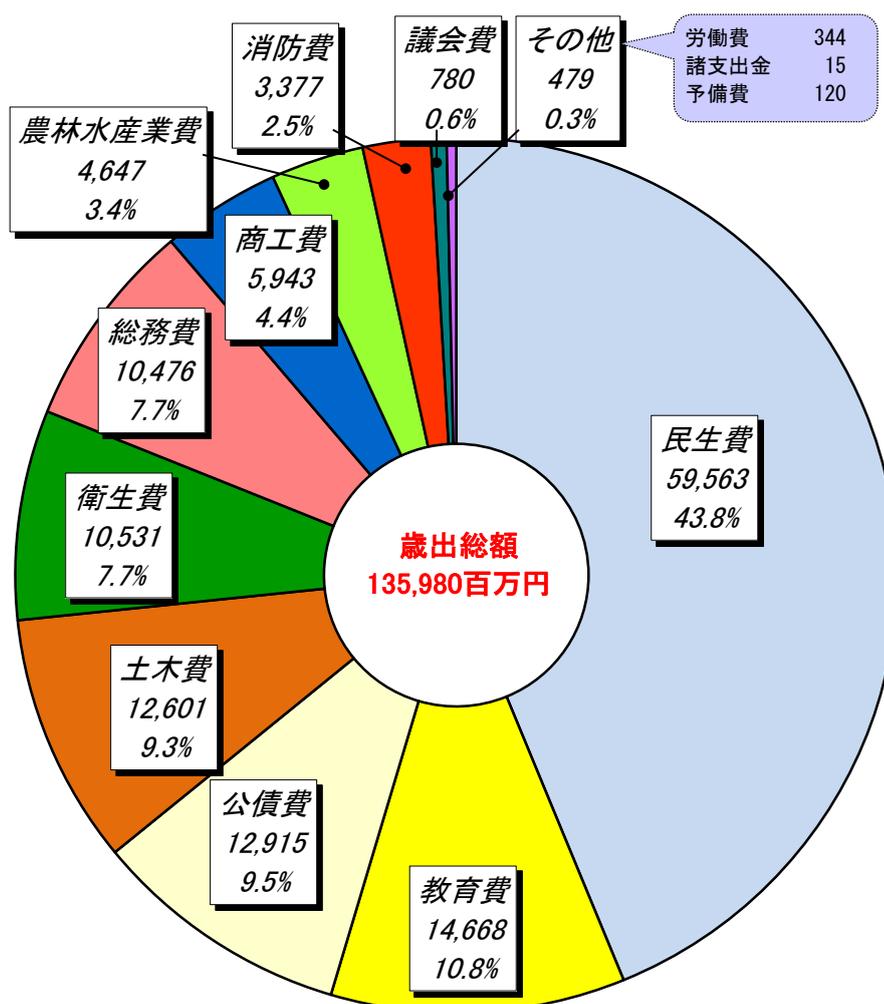


(3) 一般会計歳出（目的別）

(単位:千円,%)

区 分	平成29年度当初予算額		平成28年度当初予算額		対前年度 伸 率
		構成比		構成比	
1 議会費	780,032	0.6	686,926	0.5	13.6
2 総務費	10,476,422	7.7	9,869,066	7.4	6.2
3 民生費	59,563,233	43.8	59,342,448	44.5	0.4
4 衛生費	10,530,757	7.7	9,945,273	7.4	5.9
5 労働費	343,622	0.2	348,633	0.3	▲ 1.4
6 農林水産業費	4,646,787	3.4	4,165,628	3.1	11.6
7 商工費	5,943,020	4.4	5,415,421	4.0	9.7
8 土木費	12,601,152	9.3	11,440,063	8.6	10.1
9 消防費	3,377,247	2.5	3,465,959	2.6	▲ 2.6
10 教育費	14,668,090	10.8	16,107,071	12.1	▲ 8.9
11 災害復旧費	2	0.0	2	0.0	0.0
12 公債費	12,915,157	9.5	12,505,510	9.4	3.3
13 諸支出金	14,479	0.0	28,000	0.0	▲ 48.3
14 予備費	120,000	0.1	120,000	0.1	0.0
合 計	135,980,000	100.0	133,440,000	100.0	1.9

【単位:百万円】



(4) 一般会計歳出（性質別）

(単位:千円,%)

区 分	平成29年度当初予算額		平成28年度当初予算額		対前年度 伸 率
		構成比		構成比	
人件費	14,301,132	10.5	14,183,281	10.6	0.8
物件費	19,217,924	14.1	18,786,968	14.1	2.3
維持補修費	1,644,982	1.2	1,483,088	1.1	10.9
扶助費	39,729,871	29.2	39,755,802	29.8	▲ 0.1
補助費等	14,563,474	10.7	14,479,664	10.9	0.6
公債費	12,908,964	9.5	12,499,317	9.4	3.3
積立金	1,422,511	1.1	1,095,964	0.8	29.8
投資及び出資金	324,168	0.2	317,611	0.2	2.1
貸付金	3,101,100	2.3	3,417,600	2.6	▲ 9.3
繰出金	10,778,550	7.9	11,378,998	8.5	▲ 5.3
普通建設事業	17,867,322	13.2	15,921,705	11.9	12.2
災害復旧事業	2	0.0	2	0.0	0.0
予備費	120,000	0.1	120,000	0.1	0.0
合 計	135,980,000	100.0	133,440,000	100.0	1.9

【単位:百万円】

